



喜多埜

「もう幾つ寝るとお正月」と謡われるように、十二月は新年を控えて、元旦の準備に忙しい月です。この新年の準備に入る時期はいつ頃かといえますと、本来は**十二月十三日**の「**事始め**」という日からお正月の準備に入ります。

そのお正月の準備ですが、新年の年神さまをお迎える為のしめ縄・門松を飾ったり、お節料理、鏡餅の準備をしたり、というのが正月準備で思い浮かぶ事ですが、この正月準備で一番大切なのは神棚などにお祀りされている**御神札を新しいものと取り替える事**です。

最近では、初詣の際に新しい御神札を受けて、新年になってから御神札と取り替えるという方が殆どですが、本来は旧年中の

事始め(十二月十三日)から十二月二十八日までに

取り替えるのが做わりました。事始めは分かるとして、なぜ二十八日なのかというと、三十一日は翌日が新年なので、一夜飾り(お通夜のようごと)といって不吉とされ、三十日も旧暦での月末にあたり、これも一夜飾りに繋がるとされ、二十九日は二重苦に繋がるといふ、いわば縁かつぎでありますが、その本義は、**せわしなく神さまをお迎えないように**という意味も含まれているのかもしれない。 (地方によっては冬至の日に取り替えるところもあるようです)

一般的には家人だけで御神札を取り替える方が多いですが、神社の神職が、「自宅や会社に向いて神棚の御神札を取り替え、良き新年となりますようにと御祈願する、**年納清被**としおさめるときよばらい」、または**家祈祷**(やぎとう)と呼ばれる神事もかつてはよく執り行なわれました。この神事の為に神職が氏地を回る事から、「**師走**」の語源となったともいわれますが、近頃は核家族化、会社の合理化などで、殆ど見かけなくなりました。御神札を取り替えるという事は、**清々しく神さまの御力も若やいで**、ご家族、会社の社員みなさまの気持ちにも、一つの区切りがついて、新しい年に向けて**頑張ろうという気持ち**が生まれます。これも一つの神さまの「**お蔭**」といえます。

お蔭を頂いて良き新年をお迎え下さい。

初詣のご案内

当神社では例年通り御本社、御旅社ともに

一月一日

午前0時～午後五時頃まで開門

いたします。また、新年のお守り、御神札などの授与も午前0時から開始致します。

今年一年間のご奉告と、来年一年間の無病息災を併せて初詣にどうぞお参り下さい。

御神札の授与について

新年の御神札の授与ですが、茶屋町の御旅社では**日曜日**であれば必ず神職がおります。平日も事前にお電話頂ければ大丈夫です。**山町の御本社**は今月は社務の都合で神職が出払う事が多いですので、必ず**事前にお電話頂**きますようお願い致します。

お祀りする御神札

基本的には、お受けになられる方が一番**大事にしたい神さま**の御神札をお祀りになられるれば結構ですが、本義に基づいてお祀りされるのであれば、伊勢神宮、地元の氏神さまの御神札をお祀りされると良いでしょう。

新年祈祷について

新年のご祈祷につきましては必ず年内に御電話等でご予約下さい。飛び入りではお断りする事もございます。なお、一月四日から七日にかけては、茶屋町の御旅社ではご祈祷はお受け付け出来ませんのでご注意ください。

御本社 〇六・六三六一・二八八七

御旅社 〇六・六三七一・一五八六

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜(神主)

白江 秀知

